

事業所名

重心児デイサービスAmi

児童発達支援 支援プログラム

作成日

7年

2月

1日

法人（事業所）理念	友達として子ども達と共に学び、共に経験を重ねていく。困った時には相談ができ、安心して遊びに来られる場所でありたい。子ども本人の気持ちや意思決定を第一に考え、実現に向けた支援のあり方を模索する。					
支援方針	看護師、機能訓練士、保育士等他職種がチームを組み、子どもにとって何が最善かを常に思考し支援を提供する					
営業時間	9時	0分から	17時0分まで	送迎実施の有無	あり	なし
支 援 内 容						
本人支援	健康・生活	一般状態の観察、バイタル測定を行い必要なケアを実施すると共に、体調変化の早期発見に努める ご家庭でのケアを継続して実施することが、本人・ご家族の安心に繋がると考え、保護者との情報共有を密に行いながら特性や体調に合わせたケアを実施する 適切な体調管理のもと、安全に療育やリハビリに取り組む				
	運動・感覚	成長による身体の変化を把握し、身体能力の維持・向上のためのプログラムを実施する 安楽な姿勢で活動に取り組むことが出来るよう、身体的特性を踏まえた良肢位についてスタッフと共有する 感触遊び、運動遊びにおいて発達を促すとともに、適宜機能訓練士が介入し評価を行う				
	認知・行動	興味関心を探り、快・不快を含めた気持ちの変化を経験すると共に、行動を観察し不快感への対処方法や表現方法を模索する 外出活動を通して季節の変化、風や匂い等の刺激を受け豊かな感性を育む 活動や遊びの中で意思決定の場を設け、自己決定のプロセスを繰り返し経験する				
	言語 コミュニケーション	表情・視線・発声・動作・心拍等を観察し、本人なりの表現方法を見つける 表現発信に対して、適切な言葉掛けやスキンシップを繰り返し行う事で、コミュニケーションの楽しさを知ってもらう スイッチや視線入力等、本人にあった意思伝達方法を模索し実践する				
	人間関係 社会性	スタッフやお友達との協同遊びを通して他者を意識しながら活動を楽しめるよう支援する 言葉掛けやスキンシップによるやりとりから信頼関係を築く 家族以外との生活場面において、スタッフやお友だちと安心して自分らしく過ごせるよう環境を整備する				
家族支援	保護者からの相談、要望があれば迅速に対応する 本人の将来や成長発達に共通した認識を保てるよう、情報共有を密に行う 保護者の休息を確保するため、利用方法について柔軟に対応する	移行支援	進級進学に際して関係機関と情報共有を行う 見学受け入れ、移行先への見学を行う事で統一した支援が行えるよう努める			
地域支援・地域連携	併用先デイサービス、こども園、病院、訪問サービスとの情報共有を行うと共に、支援の見学や見学受け入れを積極的に行う	職員の質の向上	外部研修を通して、支援方法や福祉サービスの学びを深める 各種委員会活動による研修において、安全管理、環境整備の意識向上に努める			
主な行事等	観劇や季節に合わせた外出行事、保護者懇談会 初詣、節分、夏祭り等文化に関するイベント 防災訓練や消防見学、演劇・演奏ボランティア、児童クラブ等外部を招待してのイベント					